

み〜も通信

冬号
WINTER

2009.12
VOL.19

meemo quarterly journal

しまね企業参加の森づくり 「ドコモ島根だんだんの森」で 保全活動が行われました!



飯南町有林で 保全活動を開始

11月7日(土)、飯南町角井にある飯南町有林でNTTドコモ中国支社島根支店やグループ企業の従業員とその家族約80名による植樹活動が行われました。

植栽された樹種は山桜とクヌギあわせて500本。

時折雨の降るあいにくの天気でしたが、ケガもなく無事植栽できました。



▲親子で植栽を行いました



友達と協力して植栽を行いました▶

「ドコモ島根だんだんの森」 の調印式を実施

11月に実施した保全活動に先立ち、10月に島根県庁においてNTTドコモ中国支社井手支社長ほか3者による森林整備に関する協定の調印式を行いました。

島根県における「企業参加の森づくり」制度に参画された団体は、これで7社1団体となりました。企業の森づくりが広がっています!



◀左から
永原県農林水産部次長、
藤下ドコモ島根支店長、
井手ドコモ中国支社長、
松尾県副知事、山崎飯南町長、
立石飯石森林組合長

今後の活動の内容

●活動面積：2.00ha

ドコモ島根だんだんの森の山林内を伐採、整理し、ドコモ社員や家族を中心としたボランティア活動としてヤマザクラ、クヌギ、その他広葉樹の植栽を実施します。

その後、下草刈り及び周辺山陰の除伐などの森林保全活動を実施します。日常管理は飯石森林組合に委託します。

みず・みどり・みまもりはぐくむ 森だ

水と緑の森づくり事業◎これまでの取り組み

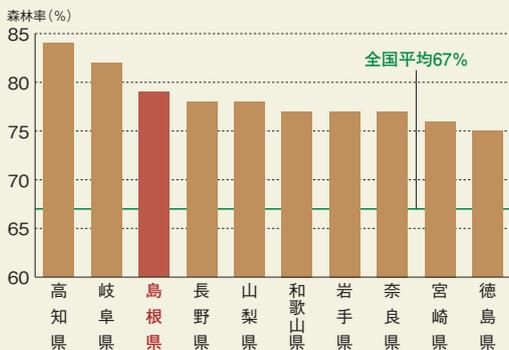
500円で始まる森づくり

～水森税が始まった背景～

島根県の県土の約8割は森林で、森林率は全国3位の森林県です。

県土に占める森林の割合が高いということは、身近に森林が存在していて、森林が県民の暮らしに大きな影響を与えることを意味しています。

全国森林率上位10県



一方、時代の変遷で長年手入れのされない荒廃した森林が増えてきて、森林のもつ機能の低下が懸念されました。

そこで

水を育む緑豊かな森を次世代に引き継いでいくため、平成17年度より、個人からは年間500円、法人からは年間1,000～40,000円を県民税に加算し納付していただき、それを財源として、森づくりボランティア活動への支援など、水と緑の森づくり事業を実施しています。



46,606人の森づくり

～森づくり・資源活用実践事業～

県民ボランティアによる森づくり活動「森を保全する取り組み」と、木材利用の啓発につながる「森を利用する取り組み」で県民の主体的な森づくりを支援してきました。

平成20年度末までに、140件の取り組みを採択し、46,606人の県民のみなさんによる森づくりが行われました。

森づくり・資源活用実践事業の参加団体の状況

(単位:件)

	自治会	教育機関	林業団体	NPO	その他	計
森を保全する取り組み	5	1	6	7	17	36
森を利用する取り組み	7	15	28	7	16	73
併用	9	4	4	3	11	31
計	21	20	38	17	44	140

また、140件のうち、96件が林業団体以外の取り組みです。自治会や教育機関は、この事業で新たに森づくりを始めた団体がほとんどです。



この事業をきっかけとして県民参加の森づくりに広がりが見られました。



●平成21年度は、20件を採択し、植栽活動や木材利用の取り組みなどが行われてます。



●11月に邑南町で実施された植栽活動。みーもくんも参加。どこにいるか分かります？

島根県が平成17年度に導入した「水と緑の森づくり税」の取り組みも5年目をむかえました。

これまでの取り組みについてお知らせいたします。



3,500haの森の復活大作戦

～県民再生の森事業～

平成17～20年度までの4年間で、2,718haの荒廃森林で不要木の伐採を行い、森林を再生させました。

最終年度となる本年度末までに3,500haの荒廃森林の再生を行うことができる見込みです。



間伐がされず放置された森林

再生された森林

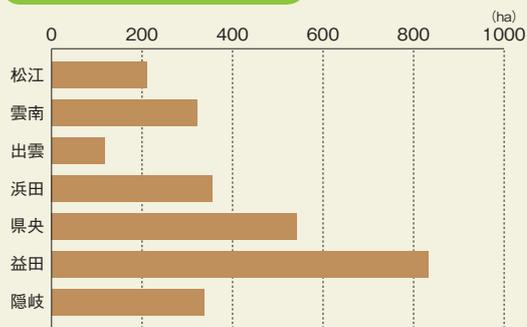
県民再生の森事業実績

(単位:ha)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度見込
実施面積	214	314	899	1,291	800
累計	214	528	1,427	2,718	3,518

圏域別の実施面積

(平成17年度～平成20年度)



●手入れをした森林は、光が降り注ぎ、下草が生え、森林が緑に覆われ、森が生き生きとした状態となっています。



豊かな森を次の世代のみなさんに残していけるよう、引き続いてのご理解をお願いします。

72万県民による森づくりを広げるために

水と緑の森づくり会議

毎年度県民代表10名(4年で40名)を委員に委嘱し、おなじみの「みーもくん」やキャッチコピーの決定、公募型事業の審査などを行っていただきました。



平成21年度水と緑の森づくり会議委員のみなさま

普及啓発活動

季刊誌「みーも通信」を発行し、銀行、商業施設、小中高大学校などに配布しました。

また、県民1,000人アンケートを実施し、県民の皆さんの意向を把握するのにあわせて、事業の周知を行いました。

その他



みーもくんは、県民意見交換会、PRウォーク、店頭PRなど、たくさんの人たちにお会いできました。



「まだまだPRが足りないよ～」というご意見もいただいています。これからも森づくりへの思いが伝わるようがんばります！

平成21年度

森づくり・資源活用実践事業の
取り組みをご紹介します



西部農林振興センター浜田地域 林業普及グループからのレポートです。

浜田市では、豊かな森づくりを通じて豊かな海づくりを進めるために、漁業・林業関係者とともに「漁民の森づくり」という植樹活動を平成13～19年度まで実施してきました。昨年度からは森づくり・資源活用実践事業を利用して「森づくりは海づくり in 浜田」と銘打った森林保全活動を行い、今年度は浜田市弥栄町を舞台に取り組みました。

今年の活動のようす

11月1日、浜田市弥栄町の島根県西部山村振興財団に、漁業・林業関係者、一般企業、大学生、地元の小学生生徒など約100人が集まりました。開会式の後、参加者達はまず浜田市の名木に指定されている樹齢600年を超える2本の大きな「門田の大カツラ」の見学をしました。



●門田の大カツラ

大きなカツラを前にして、地元の人から、文献や言い伝えをもとにしたこの木にまつわる話を聞き、参加者達は時の流れを感じることができ、スケールの大きさに圧倒され「滅多にみれない大きな木を見れたのがよかった」といった学生の声もありました。

木工体験では、財団職員の指導のもと、ヒノキを利用したコマづくりをし、木の持つ温かさ・面白さに触れました。



●木工体験を見守るみ〜もくん

これらの活動の後、浜田市の市有林である「笠松市民の森」に会場を移し、メインイベントの植樹活動が行われました。今年、浜田市の木が「さくら」に決まったこともあり、ナラ枯れ被害跡地にヤマザクラの苗木を300本植えました。あいにくの天候の中の植樹となりましたが、林業研究グループや森林組合の指導を受けながら、参加者達は一生懸命苗木を植えました。数年後にはきっとヤマザクラの花が満開になることでしょう。

今年の「森づくりは海づくり in 浜田」は植樹だけでなく、様々な形で木々とふれあう機会があり、山深い弥栄町を満喫できるイベントだったのではと思います。今後の活動が楽しみです！



●植樹活動の様子

アンケート

「水と緑の森づくり」に関するアンケート実施中！下記発行元がメールアドレスへお送りください。

右記のアンケートに答えていただいた方の中から、期間中抽選で30名様に「み〜もくんグッズ」(み〜もくんモバイルクリナー×1、み〜もくんシール×1)をお送りします！

官製ハガキに右記の質問に対する回答とお名前・ご住所をご記入の上、下記発行へ郵送、またはEメールで送信してください。

●応募期限：平成22年1月29日(金)

●当選発表：景品の発送をもってかえさせていただきます。

※いただいた個人情報は、抽選および発送用ならびに「水と緑の森づくり」の業務用(内部検討)以外には使用せず、適正に管理いたします。なお、過去に当選された方は対象外とさせていただきます。



み〜もくんモバイルクリナー

み〜もくんシール

【質問】 該当の番号をお答えください。

①この情報誌「み〜も通信」をごどこで入手されましたか？

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 1. 市町村役場 | 2. 自治会回覧 | 3. 銀行 |
| 4. 図書館 | 5. スーパー | 6. 公民館 |
| 7. 博物館・美術館 | 8. 駅 | 9. JA |
| 10. 美容院 | 11. その他 () | |

②あなたは「水と緑の森づくり税」について知っていましたか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

③「森と緑の森づくり税」についてご意見をお聞かせください